

一般社団法人 日本臨床検査自動化学会

平成 30 年度第 2 回理事会議事録

開催日時： 平成 30 年 5 月 20 日（日）14 時 00 分～17 時 00 分

開催場所： 日本臨床検査自動化学会事務所（文京区本郷）

出席者： 康東天理事長、横田浩充副理事長、萱場広之理事、澤部祐司理事、
谷直人理事、通山薫理事、萩原三千男理事、日高洋理事、
栢森裕三監事、白井秀明監事、村上正巳監事

欠席者： 和田隆志理事

議題 1. 理事長挨拶

1-1. 康東天理事長より、新年度早々の多忙な折に第 1 回理事会にご参集頂いたこと、春季セミナーが盛会であったことへの謝辞があった。

1-2. 2020 年大会長について

・ 2020 年の大会長は臨床検査技師から選出するとの提案で、横田副理事長が担当することになった。

1-3. その他（2019 年度の大会日程について）

・ 来年の第 51 回大会（10/3～5）の日程の前週に、日本臨床化学会年次学術集会（9/27～29：仙台市）が開催されることが判明した。会場手配などの都合で今からの日程変更は困難であり、事務局レベルで先方にも開催日程の相互確認をしておくこととする。

以上の報告があった。

議題 2. 報告事項

・ 総務職務執行状況が以下の通り報告された。

2-1. 第 32 回春季セミナー収支報告（澤部理事）（資料 1）

・ 春季セミナー収支について山崎例会長からの提出資料に基づいて報告があった。

2-2. 学術担当より議事録報告（日高理事）（資料 2～7）

・ 以下の各委員会の活動について議事録に基づいて報告があった。

a. POC 技術委員会

POC ガイドライン第 4 版の出版が遅れているが 6 月には発刊する見込みである。POC セミナー企画書の提出があった。

b. 科学技術委員会

第 17 集マニュアルは、4 号の抄録集とともに送付する予定である。

“その他”の項番が誤記、誤)8 から正)7 に修正する。

c. 遺伝子・プロテオミクス技術委員会

MALDI-TOF MS による微生物迅速同定 WG については、微生物検査・感染症委員会と役務内容がかぶるが、当面は双方協力して活動を進めることが確認された。

d. 血液検査機器技術委員会

e. 微生物検査・感染症委員会

議事録の一部に誤記があるため、訂正を要請することとした。

f. 医療情報委員会

議事録の一部に誤記があるため、訂正を要請することとした。

2-3. UMIN 演題登録システム終了について(萩原理事) (資料 8)

- ・ 標記システムが、2019 年 3 月 31 日をもってサービスの提供が終了する旨、メールにて連絡があったことが報告された。当会としては、G-System による学会演題登録機能を来年度の学会の演題募集までに立ち上げられるよう推進することとした。

2-4. 社員 (評議員) 退任者報告 (横田副理事長) (資料 9)

- ・ 資料に基づいて説明があり、今年度退任される飯塚儀明先生と宇治義則先生はともに功労会員へ推薦とし、今年度の定時社員総会で議案にすることとした。
- ・ 来年度は、宮島栄治先生が名誉会員に、柏森裕三先生が功労会員に該当するとの報告があった。
- ・ 名誉会員や功労会員の該当者が少ないようであれば、規定を見直すか会員歴も加味して理事会にて推薦してはとの発言が理事長からあった。協議の結果、通算会員年数が 25 年以上を目安に (会員番号 2 桁までの方々に) 功労会員に推薦したい旨を本人に打診することとした。このことを今後の名誉会員・功労会員推薦に際しての申し合わせ事項とした。

2-5. その他 (各地区からの報告)

- ・各地区からの評議員の推薦があった。

議題3. 審議事項

3-1. 評議員推薦(古川様、青木様、中江様)(康理事長、横田副理事長、日高理事)(資料10~12)

- ・資料に基づいて候補者3名の推薦理由の説明があった。審議の結果、3名の推薦を理事会として認め、次回の社員総会に提案することとした。

3-2. 技術セミナー申し込み画面追加作成(澤部理事)(資料13)

- ・微生物検査・感染症委員会が、本年度から技術セミナーを開催するため、学会ホームページ上にセミナー受付画面作成する費用見積もりの説明があった。審議の結果、医療情報委員会および生理委員会(仮称)を含め3委員会分の画面を追加することとした。

3-3. POC委員会より(横田副理事長、メ谷理事)

- ・会議次第の審議順番を一部変更して以下を審議した。横田副理事長から、以下のb.からd.について資料の説明があった。

b. POCコーディネーター更新対象者案内文案(資料14-1, 14-2)

c. POCコーディネーターメーリングリスト案内(資料15)

d. POCコーディネーターカード利用案(資料16)

- ・POCコーディネーターに関係する作業量は膨大なため、現在の事務局要員数で担うのは困難であるとの説明があった。
- ・一方でPOCコーディネーターは当会唯一の認定制度であり、5年の更新処理が上手く計られておらず、何かしらの管理の必要性がある。
- ・具体的な作業量を整理・算出した上で、事務局で引き受ける方向とし事務局の体制を含めて検討することとした。
- ・本認定は当会または日臨技の会員を受験要件としているため、当会非会員の資格者がおり管理が困難との発言に対し、資格取得を機に当会会員となることを要件とすることを討議することとした。
- ・引き続きメ谷理事から、a.とe.について説明があった。

a. POC コーディネーター認定試験制度について

e. POC 技術委員会幹事委員会議報告（資料）

- ・日本臨床検査同学院が、医療法の一部改正に伴い POC 検査キットや POC 検査機器の取扱いに関して、POC オペレーター資格を認定制度化する方向であり、当会の POC 技術委員に対して個人的に制度化への協力要請があった。
- ・一方で、当会の POC コーディネーター取得者から、講習会参加のみでなく認定試験の導入を検討して貰いたい旨の希望があり、認定試験制度を導入するか否かを POC 技術委員会で議論した。
- ・POC 関連の認定制度が 2 つ立ち上がることになり、棲み分けが可能か否か、また既取得者や受験者に混乱を招かないか、早急に同学院と当会とで協議の必要がある。
- ・更に POC 技術委員会には、日臨技から委員 2 名（小島日臨技理事、岡田日臨技理事）が出席しており、認定を試験制度にするには日臨技にも説明の必要があり、当会・日臨技・同学院の 3 者で、会合の場を設けることとした。
- ・関連事項として、以下について再確認し訂正を要請することとした。
 - 1) 資料 14-1、14-2 の本文最終行の「更新期日を・・・」「今回、更新され・・・」1 文を削除する。
 - 2) 資料 2（平成 30 年度第 1 回 POC 技術委員会議事録）の 3 ページ 4.POC コーディネーター認定制度についての 1 行目内の“同学院による”を削除し、“試験を課した”に修正する。2 行目の 1 文を削除する。

f. その他

“第 65 回日本臨床検査医学会学術集会における共催シンポジウムのお祝い”について（資料 17）

- ・共催に際して、当会が選定した司会／座長／講師については、謝金／旅費／参加費の費用は共催学会側で負担を要請する。
- ・これを受けて、上記役務者を選定する場合は、当会または臨床検査医学会の会員から選出することとする。当会および臨床検査医学会の会員以外を選定する必要が生じた場合は、当会が費用負担することとした。（上記は、臨床検査医学会学術集会企画委員会が学会運営会社との 3 カ年契約をふまえて 3 年間通しでの方針を示しており、少なくとも 3 年間は同様の対応となる見込み）
- ・追加で澤部理事から、共催シンポジウムを 1) 単位申請するか？ 2) 領域講習または共通講習の何れか、との問い合わせがあった。協議の結果、領域講習として単位申請を申し込むこととした。

3-4. 学術担当より委員異動申請(血液、科学、POC、微生物)(通山理事)(資料 18～29)

- ・資料に基づき委員等の推薦者の説明があり、資料 18～25・29 の新任委員と資料 26～28 のアドバイザーが承認された。

3-5. 血液検査機器委員会から問い合わせ(横田副理事長)(資料 30)

- ・「主要血球計数機による代表的疾患の測定結果の比較検討」に対する各施設での研究倫理審査の必要性について協議した。本件は個々の患者の個人情報を取り扱うものではなく、日常臨床検査業務における業務改善を主たる目的とするものであり、研究倫理申請の範疇ではないとの見解で一致した。これを返答することとした。

3-6. 第 50 回大会関連(通山理事)

以下の進捗報告があり、各理事への協力・支援要請があった。

- ・大会会期は 2018 年 10 月 11 日(木)～13 日(土)で神戸にて開催する。
- ・5 月 19 日現在で 166 演題の申し込みがあった。倫理審査・COI 等で減少傾向と考えられる。演題の申込期間を 2 週間延長し、200 数十演題を目標にする。
- ・特別企画・科学技術セミナー等の演者・座長は、既に決定している。
- ・合同交流会は 50 周年の記念イベントであり、各社から歴代機器等のプレゼンテーションを計画している。また、当会初期の会誌をスライド紹介する。
- ・機器展示では、特別企画として日立が科学機器遺産である 705 型分析装置を展示する。他、シスメックス、Canon 東芝、BD が歴代機器もしくはそのパネル展示等を計画している。5 月中に大会長と JACLaS 幹部とで打ち合わせする予定。
- ・モーニングセミナーを 2 日目・3 日目に開催、R-CPC も最終日に開催する。

3-7. 定時社員総会議事案関連(横田副理事長)(資料 31)

- ・資料に基づいて a. から e. について説明があった。
 - a. 送付用書類と式次第
 - b. 2017 年度決算審議
 - c. 評議員選出
 - d. 2017 年度(平成 29 年)活動報告

e. 論文賞選出報告

協議を踏まえて、以下を追加・修正することとした。

- ・ 功労会員の推薦を、4.議事の第3号議案に追加する。
- ・ 2020年の大会長報告を5.報告の第3号報告に追加し、論文賞受賞者報告を第3号報告から第4号報告とする。
- ・ 第1号報告資料の事業報告の2.大会・春季セミナーと3.委員会活動内の記載に誤記があるため修正する。また、年の表記を西暦に統一する。

3-8. その他

1) 仮称：検査機器・試薬情報交換会について

- ・ 一般演題申込時にCOIの書類提出が求められることになり、今後の演題数減少が懸念される。当会としては一般演題におけるCOIの書類提出を求めない。あるいは一般演題とは別の報告会「業務に関する（検査機器試薬情報交換会）情報報告会」（仮称）を新設し、COI不要として発表の機会を増やす方策について、8月の理事会にて検討することとした。

2) プログラム委員会について

- ・ 本委員会は形骸化しており現在は、プログラム内容は大会長の自主性に任せることとしている。今後は、独立での開催は取り止めて、理事会の場でプログラム内容を確認する方向とする。また、若手の座長を掘り起こすため、各地区から推薦をお願いすることとした。

3) 次回の理事会開催日程

平成30年6月16日(土) 13時00分～14時00分、文京区民センター3階会議室Cにて開催とした。


4) 定時社員総会の開催


平成30年6月16日(土) 14時00分～15時00分、文京区民センター3階会議室Cにて開催とした。


以上

平成30年10月 // 日

一般社団法人 日本臨床検査自動化学会

理事長 康東天 

議事録署名人
(出席監事) 白井秀明 

議事録署名人
(出席監事) 稻森裕三 

議事録署名人
(出席監事) 村上正巳 